



平成29年8月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成29年4月5日

上場会社名 暁飯島工業株式会社 上場取引所 東
 コード番号 1997 URL <http://www.eazima.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 荻津 仁彦
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役専務執行役員 (氏名) 藤沼 一男 (TEL) 029-244-5111
 四半期報告書提出予定日 平成29年4月13日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年8月期第2四半期の業績 (平成28年9月1日～平成29年2月28日)

(1) 経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年8月期第2四半期	3,911	△1.2	390	5.9	396	7.5	269	4.4
28年8月期第2四半期	3,958	16.9	369	15.7	368	14.8	258	27.9
	1株当たり 四半期純利益		潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益					
	円 銭		円 銭					
29年8月期第2四半期	135.96		—					
28年8月期第2四半期	130.20		—					

(注) 平成28年9月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を実施しております。前事業年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、1株当たり四半期純利益を算定しております。

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
29年8月期第2四半期	7,686	3,464	45.1
28年8月期	7,285	3,209	44.1

(参考) 自己資本 29年8月期第2四半期 3,464百万円 28年8月期 3,209百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年8月期	—	0.00	—	70.00	70.00
29年8月期	—	0.00	—	—	—
29年8月期(予想)	—	—	—	30.00	30.00

(注) 1 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無
 2 28年8月期期末配当金の内訳 普通配当 50円00銭 特別配当 20円00銭
 3 平成28年9月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を実施しております。平成28年8月期については、当該株式分割前の実際の配当額を記載しております。

3. 平成29年8月期の業績予想 (平成28年9月1日～平成29年8月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	8,300	6.2	610	△10.0	600	△12.0	400	△12.7	201.79

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

29年8月期2Q	2,200,000株	28年8月期	2,200,000株
----------	------------	--------	------------

② 期末自己株式数

29年8月期2Q	217,714株	28年8月期	217,714株
----------	----------	--------	----------

③ 期中平均株式数（四半期累計）

29年8月期2Q	1,982,286株	28年8月期2Q	1,982,306株
----------	------------	----------	------------

(注) 平成28年9月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を実施しております。前事業年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、発行済株式数(普通株式)を算定しております。

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等につきましては、添付資料P.3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
(3) 追加情報	3
3. 継続企業の前提に関する重要事象等	3
4. 四半期財務諸表	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	6
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 四半期財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
5. 補足情報	9
(1) 受注及び売上の状況	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期累計期間におけるわが国経済は、政府の経済政策や日銀の金融緩和政策を背景に企業収益や雇用環境の改善が続いており、個人消費も底堅く推移するなど緩やかな景気の回復基調で推移いたしました。しかしながら、米国新政権の今後の政策内容、英国のEU離脱の影響、中国やアジア新興国並びに資源国における景気減速などへの懸念から為替相場や株式市況が大きく変動するなど、先行き不透明感が残る状況が続いております。

建設業界におきましては、政府建設投資及び民間建設投資は緩やかに減少するものの一定の水準を維持しておりますが、熾烈な受注競争に加え、慢性的な技術労働者不足と建設資材の価格高騰に伴う建設コストの上昇により依然として厳しい経営環境が続いております。

このような状況のもと、当社は引き続き工事利益率及び営業利益率の向上を目標に、受注時採算性の強化、原価管理及び施工管理の徹底、諸経費削減などの諸施策を実施してまいりました。

その結果、当第2四半期累計期間の業績につきましては、受注高は前年同四半期比17.7%減少の40億16百万円となり、売上高も前年同四半期比1.2%減少の39億11百万円となりました。

損益面におきましては、工事利益率が若干低下したものの、販売費及び一般管理費が減少したことから、営業利益は前年同四半期比5.9%増加の3億90百万円、経常利益も同じく7.5%増加の3億96百万円となりました。また、最終損益につきましても、前年同四半期比4.4%増加の2億69百万円の四半期純利益となりました。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

(設備事業)

設備事業の受注工事高は前年同四半期比17.7%減少の40億16百万円となり、完成工事高も前年同四半期比1.5%減少の38億97百万円となりました。営業利益は前年同四半期比1.2%増加の5億25百万円となりました。

(太陽光発電事業)

太陽光発電事業の売上高は13百万円、営業利益は△1百万円となりました。

なお、当該事業は、平成28年10月に稼働を開始いたしました。

(その他事業)

その他事業の売上高は前年同四半期比38.2%減少の0百万円、営業利益も同じく53.9%減少の0百万円となりました。

なお、各セグメントに配分していないセグメント損益の調整額は、全社費用の1億34百万円であり、主に各セグメントに帰属しない一般管理費であります。

(2) 財政状態に関する説明

(資産、負債及び純資産の状況)

当第2四半期会計期間における資産は、前事業年度末に比べ4億1百万円増加し、76億86百万円となりました。その要因は、主に売上債権が4億77百万円増加したことによるものであります。

負債は、前事業年度末に比べ1億47百万円増加し、42億22百万円となりました。その要因は、主に未成工事受入金が2億70百万円減少したものの、仕入債務が3億68百万円増加したことによるものであります。

また、純資産は、前事業年度末に比べ2億54百万円増加し、34億64百万円となりました。その要因は、主に四半期純利益の計上に伴う利益剰余金が2億円増加したことによるものであります。

(キャッシュ・フローの状況)

当第2四半期累計期間における現金及び現金同等物は、6億44百万円減少し17億24百万円となりました。

営業活動によるキャッシュ・フローは、税引前四半期純利益を計上し、仕入債務が増加したものの、売上債権も増加し、法人税等の支払いなどから4億15百万円の支出超過（前年同四半期は1億73百万円の収入超過）となりました。

投資活動によるキャッシュ・フローは、無形固定資産の取得による支出などから8百万円の支出超過（前年同四半期は2億78百万円の収入超過）となりました。

財務活動によるキャッシュ・フローは、有利子負債の約定返済及び配当金の支払いなどから2億20百万円の支出超過（前年同四半期は65百万円の支出超過）となりました。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成29年8月期の業績予想につきましては、平成28年10月14日の「平成28年8月期 決算短信〔日本基準〕（非連結）」で公表いたしました通期の業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

(3) 追加情報

(繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針の適用)

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」（企業会計基準適用指針第26号 平成28年3月28日）を第1四半期会計期間から適用しております。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

4. 四半期財務諸表
 (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成28年8月31日)	当第2四半期会計期間 (平成29年2月28日)
資産の部		
流動資産		
現金預金	2,383,058	1,738,360
受取手形・完成工事未収入金等	1,610,549	2,109,310
未成工事支出金	187,609	313,955
繰延税金資産	37,776	35,539
その他	266,559	552,281
貸倒引当金	△15,390	△19,700
流動資産合計	4,470,163	4,729,748
固定資産		
有形固定資産		
建物・構築物	865,921	990,608
減価償却累計額	△680,614	△690,552
建物・構築物(純額)	185,307	300,055
機械及び装置	-	231,240
減価償却累計額	-	△11,369
機械及び装置(純額)	-	219,870
土地	1,855,709	1,855,709
その他	464,038	200,616
減価償却累計額	△12,233	△13,220
その他(純額)	451,805	187,395
有形固定資産合計	2,492,821	2,563,031
無形固定資産	3,539	12,549
投資その他の資産		
投資有価証券	302,475	363,575
その他	46,962	47,782
貸倒引当金	△30,562	△29,722
投資その他の資産合計	318,875	381,635
固定資産合計	2,815,236	2,957,216
資産合計	7,285,400	7,686,964

(単位：千円)

	前事業年度 (平成28年8月31日)	当第2四半期会計期間 (平成29年2月28日)
負債の部		
流動負債		
支払手形・工事未払金	1,635,084	2,003,945
短期借入金	955,000	930,000
1年内返済予定の長期借入金	173,600	122,960
1年内償還予定の社債	70,000	70,000
未払法人税等	147,232	147,283
未成工事受入金	581,966	311,826
完成工事補償引当金	5,230	5,190
工事損失引当金	-	1,674
賞与引当金	74,270	66,660
役員賞与引当金	17,480	-
その他	68,614	275,758
流動負債合計	3,728,478	3,935,298
固定負債		
社債	155,000	120,000
長期借入金	116,440	75,280
繰延税金負債	-	14,106
退職給付引当金	72,849	75,039
その他	2,675	2,944
固定負債合計	346,964	287,370
負債合計	4,075,443	4,222,669
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,408,600	1,408,600
資本剰余金	3,705	3,705
利益剰余金	1,996,193	2,196,321
自己株式	△178,012	△178,012
株主資本合計	3,230,486	3,430,615
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△20,530	33,680
評価・換算差額等合計	△20,530	33,680
純資産合計	3,209,956	3,464,295
負債純資産合計	7,285,400	7,686,964

(2) 四半期損益計算書

第2四半期累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成27年9月1日 至平成28年2月29日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成28年9月1日 至平成29年2月28日)
売上高		
完成工事高	3,957,540	3,897,721
その他の事業売上高	971	14,082
売上高合計	3,958,511	3,911,804
売上原価		
完成工事原価	3,320,190	3,279,816
その他の事業売上原価	367	15,102
売上原価合計	3,320,558	3,294,919
売上総利益	637,953	616,885
販売費及び一般管理費		
従業員給料及び手当	67,255	72,130
賞与引当金繰入額	22,460	20,990
退職給付費用	5,738	4,895
貸倒引当金繰入額	59,130	4,310
その他	114,155	123,743
販売費及び一般管理費合計	268,740	226,069
営業利益	369,213	390,816
営業外収益		
受取利息	73	1,850
受取配当金	2,506	3,376
投資有価証券売却益	-	594
仕入割引	4,765	3,098
受取地代家賃	4,300	4,332
貸倒引当金戻入額	-	840
その他	4,874	3,907
営業外収益合計	16,519	17,999
営業外費用		
支払利息	15,117	11,736
その他	2,028	815
営業外費用合計	17,146	12,551
経常利益	368,586	396,263
特別利益		
有形固定資産売却益	44,866	-
特別利益合計	44,866	-
税引前四半期純利益	413,453	396,263
法人税、住民税及び事業税	157,596	124,518
法人税等調整額	△2,240	2,236
法人税等合計	155,356	126,755
四半期純利益	258,096	269,508

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自平成27年9月1日 至平成28年2月29日)	当第2四半期累計期間 (自平成28年9月1日 至平成29年2月28日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期純利益	413,453	396,263
減価償却費	7,687	23,584
貸倒引当金の増減額(△は減少)	59,130	3,470
完成工事補償引当金の増減額(△は減少)	350	△40
工事損失引当金の増減額(△は減少)	-	1,674
賞与引当金の増減額(△は減少)	△5,690	△7,610
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	△14,850	△17,480
退職給付引当金の増減額(△は減少)	4,922	2,190
受取利息及び受取配当金	△2,579	△5,227
支払利息	15,117	11,736
投資有価証券売却損益(△は益)	-	△594
売上債権の増減額(△は増加)	△324,018	△477,083
未成工事支出金の増減額(△は増加)	54,028	△126,346
仕入債務の増減額(△は減少)	273,905	368,860
未成工事受入金の増減額(△は減少)	5,285	△270,139
未収消費税等の増減額(△は増加)	△3,495	-
未払消費税等の増減額(△は減少)	△37,110	57,044
その他	△77,309	△243,911
小計	368,827	△283,608
利息及び配当金の受取額	2,579	5,274
利息の支払額	△16,546	△11,572
法人税等の支払額	△181,217	△125,626
営業活動によるキャッシュ・フロー	173,641	△415,532
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△215,880	△6,178
有形固定資産の売却による収入	469,036	-
無形固定資産の取得による支出	-	△10,300
投資有価証券の売却及び償還による収入	-	5,324
その他	25,133	2,530
投資活動によるキャッシュ・フロー	278,290	△8,623
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	40,000	△25,000
長期借入れによる収入	100,000	-
長期借入金の返済による支出	△121,000	△91,800
社債の償還による支出	△35,000	△35,000
自己株式の取得による支出	△39	-
配当金の支払額	△49,809	△68,741
財務活動によるキャッシュ・フロー	△65,849	△220,541
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	386,082	△644,697
現金及び現金同等物の期首残高	1,488,160	2,369,058
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,874,242	1,724,360

(4) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

5. 補足情報

(1) 受注及び売上の状況

①受注実績(累計)

区分	前第2四半期累計期間 (自平成27年9月1日 至平成28年2月29日)		当第2四半期累計期間 (自平成28年9月1日 至平成29年2月28日)		増減 (△は減)		(参考) 前事業年度 (平成28年8月期)	
	金額(千円)	構成比 (%)	金額(千円)	構成比 (%)	金額(千円)	増減率 (%)	金額(千円)	構成比 (%)
設備事業								
建築設備工事	2,943,175	60.3	2,541,610	63.3	△401,565	△13.6	4,890,205	59.7
リニューアル工事	1,886,360	38.7	1,420,304	35.4	△466,055	△24.7	2,966,131	36.2
土木工事	—	—	—	—	—	—	—	—
プラント工事	—	—	—	—	—	—	—	—
ビルケア工事	48,718	1.0	54,147	1.3	5,429	11.1	335,737	4.1
設備事業合計	4,878,253	100.0	4,016,062	100.0	△862,191	△17.7	8,192,074	100.0

(注) 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

②売上実績(累計)

区分	前第2四半期累計期間 (自平成27年9月1日 至平成28年2月29日)		当第2四半期累計期間 (自平成28年9月1日 至平成29年2月28日)		増減 (△は減)		(参考) 前事業年度 (平成28年8月期)	
	金額(千円)	構成比 (%)	金額(千円)	構成比 (%)	金額(千円)	増減率 (%)	金額(千円)	構成比 (%)
設備事業								
建築設備工事	2,517,911	63.6	2,118,567	54.1	△399,344	△15.9	4,780,034	61.1
リニューアル工事	1,270,147	32.1	1,607,750	41.1	337,603	26.6	2,697,723	34.5
土木工事	—	—	—	—	—	—	—	—
プラント工事	—	—	—	—	—	—	—	—
ビルケア工事	169,481	4.3	171,404	4.4	1,922	1.1	339,316	4.4
設備事業合計	3,957,540	100.0	3,897,721	99.6	△59,818	△1.5	7,817,074	100.0
その他の事業								
太陽光発電事業	—	—	13,482	0.4	13,482	—	—	—
不動産事業	971	0.0	600	0.0	△371	△38.2	1,571	0.0
その他の事業合計	971	0.0	14,082	0.4	13,111	—	1,571	0.0
合計	3,958,511	100.0	3,911,804	100.0	△46,706	△1.2	7,818,645	100.0

(注) 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。